Rotary District 2710

ONOMICHI ROTARY CLUB

2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

インスピレーションになろう

Vol. 13

2019年 7月号

『ガバナー年度を終わって』

国際ロータリー第2710地区
2018-19年度 ガバナー
吉原 久司
GOVERNOR:
Hisashi Yoshihara

2018年7月1日に国際ロータリー第2710地区のガバナーに就任した直後から我が地区（山口県・広島県）を中心に降り続いた西日本豪雨のおかげでJR西日本・山陽本線の運休、山陽自動車道などの通行止め、断水、停電などで呉RCの公式訪問が延期となりました。出だしから苦労の連続でしたが各クラブの友情あふれる温かい歓迎やガバナー補佐・補佐幹事の、う回路を活用した送り迎え等、皆様のおかげをもって12月18日の福山赤坂RCを以って公式訪問を終了することができました。

また本年度はクラブ周年行事が多く計12クラブに出席しました。新クラブの設立は親クラブの周年年度に集中する傾向があり本年度は当たり年だったらしく随行幹事の方には大変お世話になりありがとうございました。

また10月20日から21日にかけて地区大会を開催しました。RI会長代理に北 清治様、姉妹地区・国際ロータリー第3690地区 李相逢 総裁、メインゲストに阿川佐和子様を迎え1,640名の登録を頂き盛大に開会されました。前日の記念ゴルフ大会ではホールインワンも出て、歴史と記憶に残る地区大会になったと皆様から評され誠に有難うございました。

本年度、国際ロータリー会長のバリー・ラシン氏はテーマを「BE THE INSPIRATION・インスピレイションになろう」とされました。それを受けて私のガバナー信条を「輝こうロータリー　ふたたび！」基本目的を「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」としました。何とか仲間を増やし３ゾーンを以前のように日本で独占しRI理事を２人体制に戻したい、RIでの日本の影響力を取り戻したいと思いました。4月末現在当地区の会員数3,321名で年度初めより59名増、昨年４月末に比べ24名増となっています。懸案となっておりました、DDFの積み残しの問題に対し地区財団委員会の懸命なご協力もあって地区補助金はほぼ全額活用されております。残りのグローバル補助金を含めたDDFに関しても今後積極的に取り組んで頂きたいと思います。又今年度準備不足とは思いましたが、以前から心配をしていましたローターアクトクラブへの支援策としてワンコイン援助のお願いをしたところ5月17日現在1,451,000円が集まりました。しかし使い道もはっきりせず体制整備も含め、今後地区戦略計画委員会及び地区ローターアクト委員会でしっかりと議論していきたいと思っています。

また将来、AI（人工知能）がもたらすロータリーへの影響が出てくると危惧しています。もはや産業革命とも思えるAIによる職業構造の変化で多くの職業が無くなるか衰退し、新しい職業が生まれてくる時代に職業を金看板とするロータリークラブがどう対応していくのか？ また現在著しい成長を見せている情報分野ですが、今後は都市にある必要が無くなると言われています。まだ日本では東京に集中していますが海外ではすでにニューヨーク、ロンドン、パリ、北京などから撤退をしていると聞きます。そこに地方が生き残る可能性が出てきますが今からインフラ整備などの投資が必要です。地方自治体を含めたロータリアンの力を結集するときが来ているのではないでしょうか？ 各クラブは地域の特性に合わせ、きめ細かく柔軟に職業分類の変更を行って頂きたいと願いガバナーを終えたいと思います。本当にありがとうございました。

【目次】

● ガバナーメッセージ……P1
● 各グループガバナー補佐退任の挨拶 …… P2～7
● 地区代表幹事退任のご挨拶 ……P8
● クラブ管理運営委員会委員長退任のご挨拶 ……P8
● 公共イメージ委員長退任のご挨拶 …… P8～9
● 会員増強委員長退任のご挨拶 ……P9
● 奉仕プロジェクト委員長退任のご挨拶 ……P9
● 米山記念奨学会委員長としてのご挨拶 …… P10
● ロータリー財団委員長退任のご挨拶 …… P10
● 特別コラム …… P11
● 新会員・物故会員紹介…… P12
● 月信編集委員長後記 …… P12

～輝こう ロータリーふたたび～

ガバナー補佐退任の挨拶

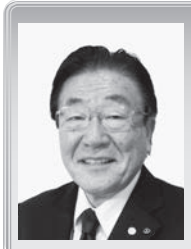
2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 G1ガバナー補佐　**吉村 彦士**

吉原ガバナーのもと、グループ1のガバナー補佐として、長い1年8ヶ月がいよいよ終わろうとしています。

グループ1の6クラブの会長・幹事をはじめ各クラブの皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

振り返れば、2017年10月1日の第1回ガバナー補佐会議に始まり、RLIのディスカッションリーダー研修、3回におよぶ第10期RLI研修、PETS&地区研修セミナーや地区研修・協議会、グループ1での吉原ガバナーエレクトを囲む会、クラブ戦略計画フォーラム、また、2018年7月1日からは各クラブのクラブ協議会、ガバナー公式訪問、地区大会などなど。今思うと、あっという間に過ごしてしまった感があります。そして、グループ1の6クラブを訪問した際には、訪問クラブの皆様から温かく迎え入れていただいたうえ、それぞれ素晴らしい活動や伝統を感じると同時に、多くの情報や友情をいただきました。

また、IMでは、グループ1のメンバー全員登録という厚い友情と少人数の長門ロータリークラブのメンバーが各自の役割を遂行し、成功に導いてくれたこと。これには本当に幸せであったと思いますと共に、一年間ガバナー補佐として、大変貴重な経験と勉強の機会を与えていただき、多くの素晴らしいロータリアンの皆様にお会いできたことに、心から感謝して、退任の挨拶とさせていただきます。



ガバナー補佐退任ご挨拶

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 G2ガバナー補佐　**田中 剛男**

◎足掛け2年に及ぶG-2.AGのお役目は6月29日第4回のAG会議をもって完了となりました。この間、吉原G、安保代表幹事をはじめ、地区役員、ご担当者様、G-2各クラブの会長・幹事様、会員の皆様には望外のご協力、ご配慮を賜り恵心より感謝申し上げます。

◦当該年度の最重要目標は会員増強。吉原Gの「先ず仲間を増やすことから始めよう」の方針は各クラブにとっても最重要取り組みテーマでしたが、㋑人口の減少㋺高齢化の進展等々の要因で、思うようには展開できなかったように感じますが、G-2のクラブには例会回数を月2回、夜間の体制を導入することで、若い会員を増強することに成功した例もあり、柔軟な対応の大切さを実感しました。低頭。

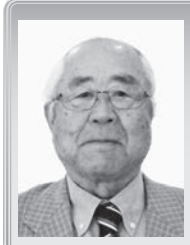
◦周年行事では萩RCが60周年、小野田RCが50周年を迎えられました。萩RC様に於いては前日のチャリティーゴルフ大会を含めて記念式典等、会員の皆様が全力で取り組まれているご様子が感動的でありました。

◦IMは種々ご意見がある中開催させて頂きました。本来の公開討論会の形式で実施しましたが、70分程度の時間では議論を尽くすには至らなかったと思っています。懇親会では各クラブに無理を申し上げ地域の名産品（名物）を持ち寄って頂きましたが、即完食。企画としてはまずまずだったかな－ご協力に深謝。

◦米山奨学生の受け入れについては、従来のG-2で2人を受け持つということだと思っていましたが、今回4人の割り当てとなり、調整に若干の困難もありましたが、宇部の3クラブさんと、初体験？美祢クラブさんにもお引き受けいただくことで一件落着。4クラブ様に感謝。

◦雑感 ― ロータリーは今大きな変革期にあるという。規定審議会は2年毎にこれからRIからの要請等はさらに増加するかもしれません。
一つ言えるのは、一番大切なことは「クラブの存続」、そのために最大限の努力をする。―　地域に根ざし、輝くために　―　私は今回のお勤めで各クラブ様とも会員の漸減等により、クラブの財政面ではかなり厳しい状況にあるように感じました（失礼ながら）。各種上納金はあくまで目標値として考えて頂ければよいのではと思っております。“クラブの存続第一”。

◦結びに2710地区、G-2各クラブのますますのご発展、会員の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りして、退任の挨拶といたします。お世話になりました。



1年を振り返って

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 G3ガバナー補佐　山野 貴教

吉原ガバナーは基本目的を「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」と掲げられ、これを合言葉に出発しました。各クラブはこれを理解し取り組まれ、特に女性会員増強が目立ちました。活動を活発にするため、地区補助金を利用するクラブも多くあり、グローバル補助金を得るために、他国のRCと連携を計画しているRCもありました。しかしながら会員の減少が危惧されこのまま進めば、日本の意見がRIに反映されることが難しくなるかもしれません。そこで、グループ３のIMのテーマを増強としました。ゾーン１に所属する東北地方は東日本大震災にあわれました。未曾有の災害にあわれても、会員増強に成功されたクラブがあります。震災以来ずっと防府北RCと親しく交流を続けています福島県南相馬市原町中央RCです。どのようにして増強され、素晴らしいクラブに成長されたかを講演していただきました。あわせて、我々が訪問するたびに「私たちを忘れないでほしい」という言葉を耳にしており、現在の復興状況を講演していただきました。また、私たちRCは奉仕プロジェクトとして青少年活動に取り組んでいます。同じ志を持って青少年活動に取り組んでいらっしゃる（一社）あすびと福島代表理事半谷栄寿氏は、福島原子力事故の責任と地元福島復興の想いから、若者の人材育成を志して活動をされておられます。グループ３のインターアクトクラブの高校生79名を招待し、講師自ら高校生の意見・考えを聞きながらわかりやすく話をされるという大変素晴らしい講演をしていただきました。

ロータリアンは戦略計画として、RCが長期的活動するには、そして、これからもダイナミックな組織であり続けるために今よりもっと強いクラブを作るためには、会員増強と将来のロータリアンになるであろう青少年育成に力を入れなければいけないと思います。

一年間皆様のご協力・御支援に感謝します。

ガバナー補佐退任のご挨拶

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 G4ガバナー補佐　蔵清 正一

バリー・ラシンRI会長テーマ「BE THE INSPIRATION」（インスピレーションになろう）のもと、吉原久司ガバナーは、信条「輝こうロータリー　ふたたび」基本目的「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」を掲げられ、ご指導ご鞭撻を頂きました。また、徳山RC三浦靖彦会長、徳山東RC伊賀浩一郎会長、周南西RC吉原雍会長、光RC龍角信夫会長、徳山セントラルRC原田正剛会長を始め、グループ４の会員の皆様には、１年間多大なご支援ご協力を頂き、深く感謝申し上げます。

振り返りますと、2017年10月１日（日）第１回ガバナー補佐会議に始まり、RLIディスカッションリーダー研修会、第10期RLI開催、PETS、地区研修協議会、クラブ戦略計画フォーラム、カバナーエレクトを囲む会が前年度終了し、2018年７月からは、クラブ訪問、ガバナー補佐訪問、ガバナー公式訪問、指導者育成セミナー、グループ４会長幹事会、尾道地区大会、そしてIM開催と大変充実したプログラムを体験させて頂きました。

吉原久司ガバナーは、「ロータリーは、１に拡大、２に拡大、３、４がなくて、５に親睦懇親」とよく言われ、ガバナー補佐訪問時の例会卓話においても、会員拡大をお願いしました。ちなみに、グループ４においても、会員が50名前後ピーク時より減少しております。また、第10期RLIでは、小西直人タスクフォース、AG同期の松井敏DLのご教示を頂きながらも、見事留年してしまい、第11期RLIにて、無事卒業したいと思っているところです。最後に、IMの基調講演者として、スリランカ出身のアーネスト・ララカ・シルバー（浜松南RC）会員との御縁を頂き、これからのロータリー財団活動の貴重なサポーターになって頂けると確信しております。

ガバナー補佐退任のご挨拶

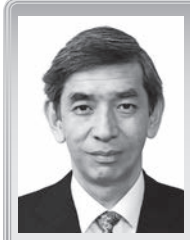
2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 G5ガバナー補佐　福田 敏勝

５年前ガバナー補佐幹事を受けたときから覚悟はしていましたが、務まるかどうか心配でした。第１回の補佐会議から始まり、12月から３回に分けて開催されたRLIのディスカッションリーダー研修、３月のPETS、そして地区研修と続きました。この間、私にとってロータリーをよく知る機会になったと思います。６月から各クラブへの挨拶が始まり緊張も致しましたが、各クラブの会長をはじめ、会員の皆様に優しく歓迎され非常に助かりました。

今年度バリー・ラシン会長は、「インスピレーションになろう」をテーマにされ、吉原ガバナーは、「鼓舞する人になろう（変化を支える人になろう）」と訳され、「仲間を増やそう。すべてはそこから始まる」を基本目的にして公式訪問がスタートしました。フォーラムの議題は、①会員増強②クラブ戦略計画③ロータリー財団寄付、この三点について各クラブより方針を述べて頂き、また、ロータリーに対しての質問を頂き吉原ガバナーより回答を頂きました。そして、その回答の中で印象深く残っていることは、周りの人にあのような素敵な生き方をしてみたいとか、魅力ある方と共に生きたいと思わせるロータリアンになること。３年後、５年後の短期の夢計画を立て、それを現実にする為にどんな職業人が必要か、メンバーは何人ぐらいが理想か等を考え、目的を持って行動を起こすこと。ロータリー財団では、国内に誕生した小さな命を大切に育てているこども食堂など民間で活動をしている団体があり、その約80％が資金不足である。ここに人道的支援の一考として地区補助金を使って食材の提供ができるのではないか。といったことを思い出しました。

今年度、当クラブ会長のテーマ「取り組もう少子化対策」をIMに取り上げて企画いたしました。一般公開にして地域の方に多数参加して頂き、個々の立場で対策を考えて頂ける場を提供できたと思っています。

終わりに、この１年間G-5の各クラブの会長・幹事様をはじめ、各クラブ会員の皆様方には多大なるご支援・ご協力を賜り心より感謝とお礼申し上げますとともに、各クラブの益々のご健勝・ご多幸を祈念致します。



ガバナー補佐退任のご挨拶（1年を振り返って）

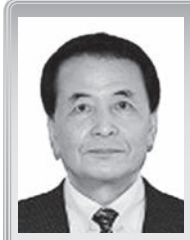
2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 G6ガバナー補佐　松井　敏

2018－19年度グループ６のガバナー補佐を務めさせて頂いた松井 敏でございます。

吉原久司ガバナーにお供した公式訪問をはじめ、合計４回に亘る各クラブ訪問、RLIのディスカッションリーダー、グループ６・７合同のIMの開催等々、大変緊張し、また勉強になった１年間でした。特に各クラブの訪問では、日頃自クラブでの例会だけでは経験できない各クラブの特徴ある例会運営やそれぞれの奉仕活動の内容にも接することができ、本当に新鮮で感心することばかりでした。

ロータリーに入会して27年になりクラブ幹事、会長などを経験させて頂きましたが、ガバナー補佐の経験は全く別のものでした。RIや地区のことも知ることが出来たと同時にグループ内の各クラブの実態にも触れることができ、ロータリアンとしての自分の立ち位置の確認もできたと感じています、これから、自分らしいロータリー活動を考えていきたいとも思っています。

最後に、大変お世話になった吉原久司ガバナーはじめ地区役員の皆さん、地区事務局の皆さん、同期のガバナー補佐の皆さん、グループ６各クラブの皆さん、IM開催に多大のご協力を頂いた広島ロータリークラブの皆さんに御礼申し上げて退任のご挨拶と致します。



ガバナー補佐退任のご挨拶

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 G7ガバナー補佐　**松田 文雄**

ガバナー補佐退任のご挨拶を申し上げます。この度、RI第2710地区2018-19年度G7ガバナー補佐を拝命し、RI第2710地区2018－19年度吉原久司ガバナーのもとで、一昨年(平成29年)の第１回ガバナー補佐会議に始まり、令和元年に至るまでガバナー補佐としてとても多くの経験をさせていただきました。まず、最初に申し上げたいのは、深い感謝の気持ちです。多くの示唆に富んだ事柄を教えていただきました吉原久司ガバナーをはじめ、パストガバナーの皆様、第2710地区委員会組織の皆様、RI第2710地区事務局の皆様、私の担当させていただきましたG7ロータリークラブを中心とした今年度各ロータリークラブの会長・幹事・会員の皆様、そして私の所属する広島城南ロータリークラブの皆様には大変お世話になりました。また、IMではG6松井敏ガバナー補佐、廣谷清会長をはじめ広島ロータリークラブの皆様に大変お世話になりました。緻密で配慮が行き届き、内容が豊かで温かくIMが盛況の内に終わるまで多大なご尽力をいただきましたことに心よりお礼を申し上げたいと思います。

ガバナー補佐として私が経験させていただいたことを一つ一つご紹介するには紙面が足りません。何か１つだけ申し上げるとするならば、「職業奉仕をしながらロータリーにかかわることはとても忙しいが、ロータリーはとても面白い」ということです。何が面白いのかというと、一つはさまざまな素敵な人々との出会いがあることです。そしてもう一つは、知れば知るほど幅広く柔軟で深いロータリーの考え方です。私にとって令和元年はロータリー歴25年目になります。四半世紀の節目として、ガバナー補佐の役割をさせていただいたことに心よりお礼を申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。本当に皆様ありがとうございました。そして、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

ガバナー補佐退任のご挨拶

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 G8ガバナー補佐　**神垣 和典**

皆様の寛大なるお気持と、所属の呉ロータリークラブの絶大なるご支援のお蔭で、ガバナー補佐の大役を無事終えようとします。前年の会長から連続してのことで、昨年１～６月はやっとロータリーが少し判りかけたかなというところで、クラブ会長とRLIのディスカッションリーダー３回が重なって、正直大変でした。しかも７月スタートするやいなや、６日未明の西日本豪雨災害で大変さは輪をかけたようになりました。2710地区でも特にG8呉～東広島地区は被害が大きく陸の孤島と断水で翌週12日に予定されていた、吉原ガバナー公式訪問一発目の呉RCは道路が寸断で中止（11月にジャンプ）。以降７月は呉地区3RCの例会は休会が続いたり、事前の協議会と公式訪問をこなすのがやっとの状況でした。それでも東広島地区3RCは12日には恒例の合同例会をするので、できれば出席してほしいということで、幹事も連れず一人で出席して卓話をいたしました。嬉しいもので、「この状況でよく来てくれた」と歓迎していただき、以降の行事がスムーズに進み、西条酒祭りにも招待を受けたり交流コンペ開催したり。そして２月下旬には、IMでも事例発表いただきました西条RCのタイ北部山岳民族の貧困児童への財団支援事業の完成贈呈式にも同行するほどに親しくしていただきました。感謝申し上げます。

振り返れば、地区とクラブの橋渡し役や他クラブの情報などから戦略会議の参考になるようなことの提供と考えておりましたが、勉強不足で満足に遂行することができなかったと反省頻りです。しかし各クラブのそれぞれの個性に触れさせていただき私自身が一番ロータリアンに育てていただいたように感じております。

最後に、吉原ガバナーの包容力いっぱいの「いいですよ、いいですよ」という言葉に励まされながら任を終えることができました。いまこうして達成感を感じられるのも関わりあった皆様のおかげとお礼申し上げ、今後の発展を祈念して退任のあいさつといたします。ありがとうございました。

ガバナー補佐退任のご挨拶（1年を振り返って）

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 G9ガバナー補佐　村上　光

因島ロータリークラブの村上 光です。振り返ると早いもので、あっという間のガバナー補佐体験でした。（RLIのDLがあるので実質は、1年半ですね。）

６年前にガバナー補佐幹事を務めていたので、大体のことは分かったつもりでしたが、就任して各クラブを訪問したり、地区の行事に参加したり、RLIのDL（ディスカッションリーダー）を務めさせていただき、再度ロータリークラブについて考えさせられる一年でした。

ロータリークラブは国際的な団体なので、私の常識と違った価値観が存在したり、平均年齢が40 ～ 50歳の国があるなど、今までは考えたこともありませんでした。

今後のロータリークラブの活動は、柔軟性をもって多様化していくことでしょう。

変化についていけるように、頭の柔軟さを失わないように、日々精進していきたいと思います。

今まではガラ携オンリーでしたが、スマホも使いこなせるようになります！

退任するにあたり、グループ内のクラブの皆様や地区の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

ガバナー補佐退任の挨拶

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 G10ガバナー補佐　宇田 宏之

お蔭を持ちましてグループ10ガバナー補佐の大役を無事に終えようとしております。

私自身、ロータリー活動に参加して20年の節目の年、ガバナー補佐に推薦して頂きました。不安はありましたがロータリーに微力ながら少しでも恩返しできればとお引き受け致しました。2018年10月１日、第１回ガバナー補佐会議があり　新ガバナー補佐の11人の皆様の知識の豊かさ奉仕活動の多さ・深さに驚かされ、また本部からのマイロータリーの開設、RLIのディスカッションリーダーとしての心構えなど説明を受け、とんでもない役を受けたなと思ったのを憶えています。

2018年１月28日、RLIが始まり参加者の前でしっかり対応ができるか不安でしたが、参加者の皆様の活発な発表に安堵致しました。お蔭様で現在２回目のタスクフォースとしてRLIに参加させて頂き、参加者の皆様とロータリーを勉強させて頂いております。

2019年３月９日、グループ10・11合同IMを開催することになりました。今回は本年度の吉原ガバナーの基本目的である「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」をお受けし、ガバナーの思いと熱意をグループ10・11の各クラブに伝達し、フィードバックを行い、より良いクラブ運営ができることを願い開催致しました。

IMのテーマは、会員増強を目的とした「クラブブランディング」とし、広島テレビアナウンサーの糸井直美様に「備後のお宝発見」を演題とし、魅力ある地元企業及び経営者を紹介して頂きました。また気象予報士の勝丸恭子様には、広島災害を踏まえて「いのちを守る気象情報にするために」を演題とし、講演を頂きました。最後に福山大学 前田吉広様には、糸永、勝丸講師の演題を踏まえ、福山・府中地域の11クラブがどのようなブランドを掲げて行動すればよいか、新しい環境に合わない価値観、仕組みを取り除き、継続すべき価値観、魅力、新しい価値・取組を取り入れ、11クラブを北十字星に例え、「BINGO STARS」と命名しブランドして頂きました。大変各クラブに好評でガバナー補佐として満足のいくIMを行うことができました。鞆の浦・松永両クラブ会員の方々に大変お世話になりお礼申し上げます。

微力ながらこの１年一生懸命頑張りましたが、まだまだ満足のいくものではありません。やはりメンバーの皆様の協力なくしては、ロータリー活動は難しく、しかしメンバーがいるからこそ奉仕活動ができると確信致しました。

最後にガバナー補佐として皆様方より頂いた友情とご協力に心から感謝申し上げ、ご健勝と益々のご活躍を祈念し退任の挨拶とさせて頂きます。

ガバナー補佐退任のご挨拶

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 G11ガバナー補佐　稲垣 城史

寄稿締め切り現在（5月21日）でも、ガバナー補佐としての役目が残っています。吉原ガバナーの『１に増強、２に増強……』にお応えできていないことです。グループ11の各クラブとも増強は頑張っていただいているのですが、増減では現状維持に近い状態です。まだ残された日も入会のお誘いをしていきます。そして会員みなさまの健康と年度末の退会のないことをひたすら祈っております。

2017年10月１日の第１回ガバナー補佐会議に始まり、先のことは考えず目の前のことを一つひとつ熟していました。その頃ガバナー月信最終号にガバナー補佐退任の挨拶が掲載されているのを目にしました。みなさま同様に、「感謝」、「達成感」、「楽しさ」を書かれていました。終わった人はそれはそうでしょうと思ったのを覚えています。2019－20年度ガバナー補佐のみなさまには申し訳ありませんが、かく言う私も同じようなことを書くことになりました。吉原家第39代当主でありながら、ざっくばらんに接していただいた吉原ガバナーの優しさ。重い扉の向こうの厳めしい方たちとばかり思っていたパストガバナーのみなさまのフレンドリーさ。ロータリー歴25年にして初めて経験した、地区役員・事務局のみなさまとのふれあい。「何しに来たん？」と言われても、これからもビジター訪問したいと思う各クラブのみなさまの温かさ。ほんとうにありがとうございました。このような機会をいただいたことへの感謝の気持ちを込めてこれからは、「ロータリーの仲間が増えればロータリーが楽しくなること」、「ロータリーのことを知ればロータリーが楽しくなること」を、みなさまにお伝えできればと思っています。

グループ11の各クラブでは、「ガバナー補佐」は５年に１人しか体験できません。二度はやらなくて良いですが、騙されてなら一度はやってみても良いかもしれません。自ら手を挙げて気易くやるのも良いでしょうが、薦められたほどの人は気軽にやられてはいかがでしょうか。

ガバナー補佐退任のご挨拶

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 G12ガバナー補佐　角田　守

ガバナー補佐としての任期も残り少なくなりました。

今振り返ってみますと、あっと言う間の一年間でした。その間、グループ内の皆様には勇気付けられたり、励まされたりしながら、私にとっては大変良い経験をさせていただきました。

今思い返してみますと、グループ内の各クラブに対し其々６回の訪問をさせていただきました。その際には、クラブ会長様をはじめ、会員の皆様の温かいお迎えをいただき大変感謝しております。各クラブとも特徴があり、活動の内容も歴史と伝統を感じるものでありました。また、訪問の際の挨拶では、吉原ガバナーの基本目的であります、『仲間を増やそう、すべてはそこから始まる』を、私自身常に頭においてお話させていただきました。しかしながら、当地域は地域事情もあり、思うように増強が達成できなかったことが一番残念であり、心残りでもあります。

今回のガバナー補佐としての大役は、何といってもIMにありました。従って、今回のIMも三部構成とし、第一部では、亀井静香先生に、『私の轍　内外の政治状況を問う』の演題にて基調講演をいただきました。政治の世界から経済人になられた先生の、歯に衣着せぬストレートな口調に感銘いたしました。第二部の意見発表では、各クラブより一名の方に各クラブの取り組み方や事業内容を発表していただきました。そして第三部の懇親会、私にとってはお祭りでありました。懇親を深めていただきながら、サプライズで歌手南一誠さんによる、「それいけカープ」の熱唱で盛り上がっていただきました。

今年度のIMは従来の既成概念を変えて、IMの出席を会員令夫人ご家族様ということで開催いたしました。初めての試みということで令夫人の出席が９名でありましたが、今後に繋がればと思います。

最後に、この一年間ガバナー補佐として、皆さまからいただいた友情とご協力に感謝申し上げると共に、皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、ガバナー補佐退任のご挨拶とさせていただきます。

地区代表幹事退任のご挨拶

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事　**安保 雅文**

尾道ロータリークラブから２人目のガバナーとして吉原久司さんを輩出することとなりました。２人目といっても38年ぶりということで、現会員のほとんどが未経験の状態でした。2016年１月にデジグネイトとして指名されてノミニー、エレクトと２年半の準備がスタートしました。前年度安本代表幹事をはじめ岩国中央ロータリークラブの皆さんや地区事務局のスタッフのご協力を受けながら組織作りから始めました。地区委員は全員尾道ロータリークラブから選任し、会員一丸となってガバナー年度を迎えるために数え切れないほどの会議を重ねてまいりました。

ところがスタートと同時に地区内は未曽有の豪雨災害に見舞われました。公式訪問の開催も危ぶまれる中、呉ロータリークラブの延期があったものの、73クラブを予定通り訪問することができました。私も32クラブを訪問し、素晴らしい経験をさせていただきました。ガバナー補佐並びに各クラブの皆さんに心より感謝申し上げます。

地区大会にも約1700名の参加を頂きました。1700名を収容できる会場のない尾道での開催でしたが、手塚実行委員長をはじめ尾道ロータリークラブ会員の努力によって盛大に開催することができました。

あと残すところハンブルグにおける国際大会への参加と、最後のガバナー補佐会議を開催して吉原年度を締めくくりたいと思っています。

最後になりましたが、本当に多くの皆さんに支えられ無事に終えることができそうです。ガバナー補佐、地区役員、委員、事務局の皆さんに心より感謝申し上げます。

クラブ管理運営委員会委員長退任のご挨拶

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 クラブ管理運営委員会　委員長　**髙橋 宏明**

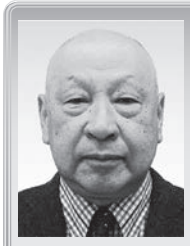
吉原久司ガバナーの下、委員長として一年間クラブ管理運営委員会を担当させて頂きました。

下関RC沖田哲義パストガバナーにはカウンセラーをお努め頂き、地区研修・協議会の担当部門開催にあたり的確なご指導を頂きました。当日は「クラブ管理運営の目的（目標）とクラブ戦略計画」についてのご講演を頂きました。素晴らしい資料を基に分かり易く系統立てたお話をお聞かせいただき心より御礼申し上げます。

岩国中央RC瀬土照章委員長からバトンを受け継ぎ福山丸之内RC後藤道幸委員長に託すことになりました。お二人には多方面でお支え下さり感謝申し上げます。

今年度、当委員会はワーキンググループとしてガバナーとパストガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーで構成される地区戦略計画委員会に出席させて頂き、議事録を作成させて頂きました。４回にわたる委員会における皆様の討議は、微に入り細にわたり、熱意の籠ったお話を直接拝聴することができ大変勉強になった１年でした。この経験を将来に活かしてロータリー活動を邁進することをお約束します。

最後になりましたが、今後もますますクラブ管理運営委員会が成功裏に運営されますよう祈念申し上げております。ありがとうございました。



公共イメージ委員長退任のご挨拶

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 公共イメージ委員会　委員長　**山本　修**

本年度吉原ガバナーのガバナー信条「輝こうロータリー ふたたび！」として、基本目的を「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」と目標設定されました。

その中で今後変えなければならない重点課題として「公共イメージ向上」が重要だと、以前のように隠匿の美学と言っていても地域への認知度が低ければ新会員確保にも地域への奉仕活動にも支障をきたすためこの際、積極的に国際ロータリー存在を地域に知ってもらう活動を推進されました。この様なことから地区協議会で事例発表させていただいた尾道地区４クラブ合同（尾道、尾道東、因島、瀬戸田）で協賛している「子供学芸員の旅」を各メディアに情報を提供し期待していたのですが７月の西日本豪雨のため、中止されました。

非常に残念ですが次年度に期待したいと思います。

また10月に開催された地区大会は、尾道地区で初めての開催ということで地元メディアには、大きく取り上げられて市民の皆様にも良いアピールができたと思います。

6月には、地区大会記念事業として3月10日にリニューアルオープンしたJR尾道駅新駅舎前広場に日時計のモニュメントを設置する予定です。日本遺産に登録された尾道水道に面した駅前を訪れる人たちへの、尾道の魅力発信の場、市民の皆様の交流、賑わい場に寄与します。

最後に、地区カウンセラーの東良輝パストガバナー、各クラブの公共イメージ委員会の皆様、地区事務局の皆様に心より感謝申し上げます。そして、次年度の福山ロータリー井上文之委員長の事業が成功しますよう心からお祈りします。

会員増強委員長退任のご挨拶

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 会員増強委員会　委員長　**中島 秀晴**

「仲間を増やそう、すべてはそこから始まる」の吉原ガバナー信条の基、昨年3月18日（日）に地区チーム研修セミナーが開催されました。合同本会議の基調講演では西村栄時地区会員増強委員会カウンセラーから「会員基盤を整える」－ロータリーを知り、ロータリーを楽しむ－の講演を拝聴し、委員会別セッションでは安田年光委員長（岩国中央RC）から引継資料を基に1年間の事業説明を受けました。

続いて5月13日（日）広島国際会議場にて地区研修・協議会が開催されました。会員増強部門の分科会では、「クラブ運営の柔軟性」の本質と会員増強の関係について考察することを主眼に企画致しました。まず2016－18年度RI研修リーダー足立功一様（釧路北RC）の講演「2016年度規定審議会：クラブ活性化とその未来」を拝聴しました。会場移動した後に、増強実績を上げられている広島北RCの杉町隆様の事例発表頂では、青年会議所OB・経済同友会からの勧誘や、例会の100%出席を目指されており、その例会もオープン例会・招待例会など大変工夫されている様子をお話頂きました。また昨年に引き続き実施した「クラブ運営の柔軟性」についてのアンケート調査結果を発表し、最後に西村カウンセラーから講評を頂き、分科会を終了致しました。

次に地区指導者育成セミナーを8月26日（日）ホテルグランヴィア広島にて、講演とパネルディスカッションの2部構成とし、「女性会員・若い会員の増強」をテーマに開催されました。前半の講演では、RI第2780地区直前ガバナー大谷新一郎様（相模原南RC）をお迎えし、「会員増強・会員維持を考える」を演題にご講演頂きました。後半のパネルディスカッションでは、地区内RCより5名の女性パネラー（下関中央RC会長の秋成宇多子様・山口南RC会長の堀本紀代様・広島安佐RC初代会長の佐藤恭子様・広島東南RCの佐野庸子様・尾道RCの山内奈保子様）にご参加頂き、西村カウンセラーにモデレーターをお願いし、それぞれの立場から女性会員増強にむけての想いをお話頂きました。

最後に、地区会員増強委員会カウンセラーの西村栄時PG、地区会員の皆様、そして地区事務局の皆様に心より感謝申し上げ、次年度の福山RC北村委員長のご活躍をご祈念申し上げます。

奉仕プロジェクト委員長退任のご挨拶

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 奉仕プロジェクト委員会　委員長　**今岡 寛信**

地区奉仕プロジェクト委員会委員長の大役を、皆様方のご支援やご協力のおかげで何とか無事に努めることができました。特に前年度委員長の長濱様には大変お世話になりました。

地区研修・協議会奉仕プロジェクト部門 分科会には、カウンセラーとして大之木パストガバナーをお迎えし開催致しました。分科会を開催するにあたり事前に全クラブへ奉仕活動実施事例（国際奉仕、職業奉仕、社会奉仕）について、アンケート調査をお願い致しました。アンケート回答のご協力に対し御礼を申し上げます。

国際奉仕 山中 巌様（広島東南RC）から、国連ユニタール「南スーダン奨学プログラムへの協力、ホームステイと交流イベント等」、職業奉仕 東谷和夫様（宇部RC）から、「外国人実習生達への職業指導等」、社会奉仕 大藤良治様から、「廿日市市の河川、御手洗川の植樹等」、3名の方に代表して発表して頂きました。

73RCの奉仕活動に対する取り組みは大変素晴らしい活動が多く、私自身も感銘を受け今後のロータリー活動に役立てていきたいと思っております。

アンケート調査をはじめ事務局の皆様には大変お世話になりました。おかげでその役目を無事に果たすことができました。御礼を申し上げます。

一年を振り返って

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 米山記念奨学委員会　委員長　清水 秀樹

皆様方もご存知だと思いますが、地区米山委員会は去年より制度の改革に取り組みまして、従来単年度だった委員長職を3年に延長することとなりました。と、いうことで私はあと二年、地区のお世話をさせていただきます。一年で御退任になられる他の委員長・委員の皆様には本当に一年間お疲れさまでした。思い返せば一昨年、吉原ガバナーが決まった時にクラブの先輩より米山をやってくれと言われて、その時に何をやればいいんですかとお聞きしたところ、「いきゃあ分かる。」の一言でした。何をすればわからないまま事務局の方々のお世話になりながら地区の仕事をさせていただき委員を経験して、去年より委員長を仰せつかっております。いろいろ経験してみると今まで知らなかったことをいろいろ知るようになり、知れば知るほど自分が世の中の物事を知らないということがわかってくるような気がします。確かに米山にかかわらなければ海外からの留学生のお世話どころか、個々の存在さえも知らなかったはずです。委員の方々にしても常日頃お目にかかることのないような方と交流が持てることは私の財産だと思います。かの米山梅吉翁はすでに43歳のころに「新隠居論」の中で、「世の中に信用され、貴重な経験をした老人、なかんずく実業界の元老といわれる人は、よろしく自分の仕事を若い人に譲って、市町村の世話、学校、病院など公共の事業に尽くしてほしい」と言われております。理想だと思います。もちろん時代背景が違いますのでその通りにはできないと思いますし、人としての器の問題もありましょうが、その中で改めてロータリーという考え方は皆さんが自分のお金と時間と知識を使って人のために奉仕をするという素晴らしい哲学なのだと思いますし、その中でも日本のロータリーが特別な存在ではないかと思わせていただいた一年でした。

退任のご挨拶

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員長　伊賀 訓之

ロータリー財団は、1917年米国ジョージア州アトランタの国際大会においてアーチC.クランフが「全世界的な慈善教育の分野でよいことをするために基金をつくろう」と提案したことに始まり、最初の寄付金はカンザスシティRCからの米貨26ドル50セントでした。その後の主だった動きとしては以下のようなものがあります。

・1928年ロータリー財団と命名される。
・1931年11月12日に信託組織になる。
・1965年財団への年間寄付総額が初めて100万米ドルを超える。
・1979年フィリピンの600万人以上の子供にポリオ予防接種を実施。
・1981年に「世界理解と平和のための基金」を設立。
・1983年ロータリー財団が法的に非営利法人となり、法人設立のための定款にロータリー財団の目的が記載されている。

2017年にロータリー財団が100周年を迎えるにあたって、大きな改革を立案しました。それまでのロータリー財団は煩雑で分かりにくい上、プロジェクトが多く、申請書の山が出来るほどでしたが、これを解消するため「未来の夢計画」が立案されました。2010年には日本国内の6地区を含む100地区がパイロット地区に選抜され、3年間の試験期間がスタートしました。そこで集計されたデータを基に2013年に「ロータリー財団未来の夢計画」が立ち上がりました。

新地区補助金では地区財団活動資金の50%までが使用出来るようになりました。さらにグローバル補助金が新設され、6つの重点分野のいずれかに該当するプロジェクトが必須条件となりました。国際間の理解、親善および平和を促進するための方法として、人々の健康状態を改善し、飢餓を救済し、人間性尊重を図る事がこのプログラムの目的です。

当地区では、ロータリー財団の理解を深めてもらうため、ガバナー補佐主導で財団勉強会をグループごとに実施しました。申請が複数年にまたがり、持続可能かつ人道的プロジェクトで、地域のニーズに沿ったもの、評価が測定可能であるもの、等を理解していただくことに苦労し、指導を分かりやすくすることに工夫を要しました。全てが手探りながらも、ロータリー財団委員会の皆様のお力添えをいただいたおかげで一定の理解を得られたことと思います。

在任中、皆様には御迷惑をおかけしたこともあるかと思いますが何卒御容赦いただきたく存じます。今後益々当地区が発展するよう、またポリオ撲滅が実現され、2025年までに恒久基金が20億2500万ドルに達成されますことを心からお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

国際ロータリー第2710地区　2018-19年度会員増減・出席率（2019年５月度）

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数 年度初 7/1	当月 末日	当月 内女性	本年度 入会	本年度 退会
1	長門	92.75	22	25	4	4	1
	下関	69.54	44	43	1	5	6
	下関中央	74.57	34	37	8	3	0
	下関東	75.32	56	62	3	7	1
	下関北	86.14	43	43	0	2	2
	下関西	80.17	33	36	1	5	2
計		79.75	232	246	17	26	12
2	萩	95.31	54	52	0	1	3
	萩東	100.00	24	25	1	2	1
	美祢	81.04	22	24	1	4	2
	小野田	83.37	35	39	3	4	0
	宇部	89.80	46	48	3	2	0
	宇部東	64.89	13	13	2	1	1
	宇部西	89.33	51	51	3	2	2
計		86.25	245	252	13	16	9
3	防府	92.22	59	65	2	7	1
	防府北	85.65	19	23	2	5	1
	防府南	84.87	34	38	6	4	0
	山口	87.02	46	53	4	11	4
	山口県央	89.39	29	31	1	5	3
	山口南	90.96	41	44	5	4	1
計		88.35	228	254	20	36	10
4	光	91.77	53	52	0	1	2
	周南西	90.75	54	55	5	2	1
	徳山	95.82	44	47	1	7	4
	徳山セントラル	95.06	24	26	1	3	1
	徳山東	93.40	50	50	0	5	5
計		93.36	225	230	7	18	13

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数 年度初 7/1	当月 末日	当月 内女性	本年度 入会	本年度 退会
5	岩国	83.79	61	64	0	6	3
	岩国中央	85.85	40	38	3	2	4
	岩国西	83.48	61	60	4	1	2
	柳井	100.00	28	31	3	3	0
	柳井西	98.05	25	28	3	5	2
計		90.23	215	221	13	17	11
6	広島	99.30	117	115	1	11	13
	広島安芸	96.56	41	43	3	2	0
	広島安佐	91.45	21	21	1	3	3
	広島東	99.70	110	114	8	9	5
	広島北	100.00	96	99	0	6	3
	広島陵北	97.89	52	54	2	2	0
	大竹	84.87	32	30	0	2	4
計		95.68	469	476	15	35	28
7	広島中央	99.91	77	75	6	1	3
	広島廿日市	93.77	35	34	3	1	2
	広島城南	98.57	45	45	3	3	3
	広島南	100.00	83	88	0	8	3
	広島東南	100.00	99	101	13	8	6
	広島西南	99.85	66	63	2	3	6
	広島西	100.00	83	84	3	4	3
計		98.87	488	490	30	28	26
8	江田島	90.92	18	18	0	0	0
	東広島	95.64	33	31	2	0	2
	東広島21	76.97	16	17	4	1	0
	呉	93.40	67	71	1	10	6
	呉東	89.37	36	35	1	2	3
	呉南	90.20	61	61	3	1	1
	西条	99.66	37	38	2	6	5
計		90.88	268	271	13	20	17

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数 年度初 7/1	当月 末日	当月 内女性	本年度 入会	本年度 退会
9	広島空港	79.87	27	29	3	2	0
	因島	93.99	20	20	0	0	0
	三原	88.70	58	60	0	2	0
	尾道	82.97	82	82	2	6	6
	尾道東	88.07	52	57	7	6	1
	瀬戸田	69.09	5	5	1	0	0
	竹原	84.46	32	27	3	2	7
計		83.88	276	280	16	18	14
10	府中	100.00	26	27	2	3	2
	福山	97.84	81	83	0	11	9
	福山東	87.41	48	49	2	3	2
	福山丸之内	98.23	30	29	1	1	2
	鞆の浦	86.10	24	24	0	1	1
	福山REC2710※	100.00	19	19	3	0	0
計		94.93	228	231	8	19	16
11	福山赤坂	78.92	52	55	6	4	1
	福山北	95.61	38	40	0	3	1
	福山南	82.03	57	53	1	3	7
	福山西	97.69	41	41	3	1	1
	松永	89.93	53	54	2	4	3
計		88.84	241	243	12	15	13
12	吉舎	94.39	15	15	0	0	0
	三次	82.23	41	38	0	2	5
	三次中央	96.29	41	39	5	0	2
	庄原	88.84	33	33	4	1	1
	東城	91.41	17	18	1	4	3
計		90.63	147	143	10	7	11
第2710地区計		89.77	3262	3337	174	255	180

※正式名称「福山ロータリー E クラブ 2710」

特別コラム

先人たちの遺産

ガバナー月信　副編集委員長（尾道ロータリークラブ）岡野 吉右衛門

サイクリストの聖地として知られる「瀬戸内しまなみ海道」は、1999 年 5 月 1 日に開通し、今年で開通 20 周年を迎えた。しまなみ海道は正式には、西瀬戸自動車道といい、広島県尾道市と愛媛県今治市を結ぶ 59.4 キロメートルの自動車専用道路として計画されていた。

海峡部の橋梁として、新尾道大橋、因島大橋、生口橋、多々羅大橋、大三島橋、伯方・大島橋、来島海峡大橋（第1～3）の 10 本である。高速道路でありながら、橋には歩行者、自転車・原付バイクが通行できる側道または、トラス内部の専用道路が設けられているのが瀬戸内しまなみ海道の特徴である。

当初は一部の歩行者、自転車道の計画はあったが、今日のようなサイクリング道路の計画はなかった。1983 年【昭和 58 年】因島大橋が完成した時点で、工事用の仮設道路（車道の下にあるトラス）が撤去の予定であった。それを聞いた、当時の瀬戸田町の町長の和気成祥氏や因島市長の岡野敬一氏が中心になり、生活道路としての役割を果たす自転車・歩行者、専用道路の併設の機能を持った仮設道路の存続を強く要望した。

当時の本四連絡橋公団の総裁に「島民の気持ちを理解してほしい、島民は自分の足で、隣りの島に行くのが長年の夢なのだ」と強く訴え、今日の世界的なサイクリングロードが残ったのである。

しまなみ海道のサイクリングロードはミシュランのグリーンブックにも掲載された。そしてニューヨークタイムズには「2019 年に行くべき世界の 52 か所」のなかで7位に推薦され世界から注目されている。その結果、尾道市の観光入れ込み客数は 650 万人にも達し、全国の中小都市の中でも注目されている。

日本には、昔から式年遷宮という文化がある。20 年に一度、神社の本殿を新しく移築したり、新築しながら、建築技術の伝承や次の時代に信仰や思想、文化を伝承する習わしがある。

日本の橋やトンネルの技術にも言えることである。西瀬戸自動車道の橋梁は世界の橋のパビリオンと呼ばれ、斜張橋、吊り橋、桁橋、アーチ橋、トラス橋等々、橋の技術者にとっては垂涎の的だそうである。特に、因島大橋で蓄積された技術経験が後の大鳴門橋、来島海峡大橋、明石海峡大橋などの吊り橋架橋に生かされることになった。なお、完成時には、日本最長の吊り橋であった。

このような、技術伝承文化のお陰で、今や日本の橋梁技術がない限り、サンフランシスコのゴールデンゲイトブリッジやニューヨークのブルックリン大橋、トルコイスタンブールのボスポラス橋等も修理や架け替えはできない状況にある。

蛇足ですが、新幹線、青函トンネル、瀬戸内架橋などの大型プロジェクトには当時の大蔵省は反対したそうである。

令和の年を迎えた我々の務めは、先人達が残した遺産を活用して、新しい町づくりに邁進することである。年間 650 万人の人々が訪ねてくれる地域は日本でも数少ない。

「尾道に来るサイクリストは何も買ってくれない」「流行っているのは、ラーメン屋だけだ」と嘆く人々が多い。

そんな、情けない地域に別れを告げ、チャレンジャブルな若者が活躍できる尾道にしたいと思う。尾道ロータリークラブもそのような若者を応援し、地域の発展に協力したいと……

この一年間、吉原ガバナーを中心に頑張ってまいりました。そして、ガバナー月信も今回をもって終了させて頂きます。稚拙な文章で皆様方にはご迷惑をおかけしたことと思います。長い間、お付き合いをいただきありがとうございました。

新会員紹介

山名 進
下関東RC
2019年5月16日
建築板金

松村 和幸
下関東RC
2019年5月30日
造園業

岡本 文夫
下関北RC
2019年5月14日
さく井業

三好 伸康
防府RC
2019年5月14日
貯蓄銀行

安部 智恵
防府北RC
2019年5月13日
ラウンジ

藤村 こずえ
防府北RC
2019年6月3日
エステ

中田 佑輔
防府北RC
2019年6月3日
レストラン

山下 鉄太郎
山口RC
2019年5月8日
交通安全工業

佐藤 孝幸
山口RC
2019年5月15日
貯蓄銀行

村田 靖
山口RC
2019年5月15日
衛生通信

新山 憲秀
周南西RC
2019年5月28日
商業銀行

宮副 弘明
徳山RC
2019年5月30日
生命保険

山脇 聡男
徳山東RC
2019年5月8日
薄鋼板製造

春名 勝之
広島RC
2019年5月28日
旅行事業

井上 淳次
広島東RC
2019年5月8日
生命保険

大島 興治
広島東RC
2019年5月8日
機械配付

後藤 博
広島陵北RC
2019年5月29日
福祉厚生施設

大谷 英樹
大竹RC
2019年5月28日
信用金庫

寺岡 孝
広島西RC
2019年6月6日
ビル総合管理

平田 聡
呉RC
2019年4月4日
証券業

長谷 雅登
呉RC
2019年4月4日
電力供給

道原 正嗣
呉RC
2019年4月4日
鉄骨建築

岩崎 誠
呉RC
2019年4月25日
新聞

長尾 龍一
呉RC
2019年5月9日
信用金庫

中田 勝巳
呉南RC
2019年5月7日
ビルメンテナンス業

川口 伸二
西条RC
2019年5月16日
マスコミ・報道

久留島 英樹
西条RC
2019年5月16日
信用金庫

蔵田 英輔
西条RC
2019年5月23日
冠婚葬祭

賀美 貴文
西条RC
2019年4月4日
信用金庫

山根 丈直
尾道RC
2019年2月1日
商業銀行

幡中 幹生
尾道RC
2019年5月17日
フィットネス

西川 祐輔
福山RC
2019年5月20日
証券業

藤原 浩
福山RC
2019年5月20日
信用金庫

中森 和宏
福山RC
2019年5月27日
貯蓄銀行

大村 元宏
福山RC
2019年6月10日
工業薬品製造

齋藤 泰範
福山東RC
2019年4月3日
協同組合

中嶋 徹
福山南RC
2019年5月23日
生命保険

井上 智貴
福山南RC
2019年5月23日
ウェブクリエイター

松岡 邦生
松永RC
2019年5月15日
損害保険

磯川 浩之
東城RC
2019年5月1日
サービス業

謹んで追悼の意を表します

宇部西RC
故 **田中 聖児** 殿

■ロータリー歴
1999-2000年度　会長
ベネファクター
マルチプルポールハリスフェロー
第4回米山功労者マルチプル
■職業分類
外科医

2019年5月20日 ご逝去
（享年87歳）

岩国西RC
故 **染川 芳範** 殿

■ロータリー歴
第32代会長
理事、委員長歴任
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者
■職業分類
不動産賃貸管理

2019年5月4日 ご逝去
（享年80歳）

一年を振り返って

2018-19年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナー月信編集委員長　**山本　修**

あっという間の一年でした。昨年５月より創刊号（７月号）の編集校正から始まり今に至ります、現在６月号の校正中で残すは最終13号（７月号）のみとなりました。

本年度吉原ガバナーのメッセージや地区内の行事、情報を掲載する広報誌として地区内会員の皆様にお届けいたしました。本年度は、月信編集委員全員で特別コラムを輪番で（テーマは、自由）を執筆したのも、本年度の特徴でした。

編集発刊にあたっては、お忙しい中執筆をお願いした多くのパストガバナーの皆様、地区委員長、ガバナー補佐の皆様ありがとうございました。また地区事務局の皆様、瞬報社写真印刷の川本様お世話になりました。

国際ロータリー
第2710地区 事務局
〒732-0822　広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F
TEL：082-506-0055　FAX：082-263-2323　E-mail：info@ri2710.com　URL：http://ri2710.com/